

# 神奈川 横浜国際 英語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

問 1 はリスニングテスト。短い文や対話を聞き、内容についての問いに答えるものです。リスニングは昨年同様独自校共通問題で、地図を見て答える問題が加わりました。リスニング以外では問 2・問 6 が独自校共通の問題です。問 2 は会話の流れに合うよう短文を書く条件作文。問われている文法事項は基本的なものなので点を落とせない問題です。問 3・問 4 は会話で、内容一致が中心の問題。問 3 は英問英答の形式であり、地図が含まれるので難度の高い問題です。地図・表・グラフなどの資料が含まれる会話は例年どおりの傾向です。問 5 は条件作文で、日本語の会話の空所に入る文を 3 文書く問題。本校では例年出ている形式で、その日のスケジュールを会話から読み取って 40 語程度で書く作文です。問 6 はグラフのついた読解問題です。本文・グラフの両方をきちんと読み取ることが求められています。

長文は会話文が多く、国際交流に関する内容は毎年出題されるのが本校の特徴です。また、ほかの独自校のような語彙・文法に関する設問が少なく、その分条件作文の配点が他校に比べて高いのも特徴的です。

## 入試までに準備しておくこと

全体的に、文法や単語の知識よりも読解力が求められる問題です。日頃から長文読解の練習をし、速く正確に読むことに慣れておきましょう。会話問題・論説文に多く触れるとよいでしょう。全体を通して多量の英文を読むことが求められるので、読むスピードを上げることをまず意識しましょう。

条件作文は毎年出題されています。10～15 語程度の長さの文を書くことに慣れるため、短文を書く練習や和文英訳の練習をしておきましょう。

リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準 2 級・3 級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

また、本校後期選抜の 2 次選考においては、英語の入試得点のみならず、英語の内申やその他コンテストなどの英語に関する活動も選考の基準になるため、本校志望者は日頃から英語の学習を大切にしましょう。

英語 分野別出題形式		22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	8	8	10
	記述	英問英答			
		和問和答			
小計		8	8	10	
語彙	記号	綴り			
		語形変化			
		発音・アクセント			
小計		0	0	0	
文法	記述	適語(句)選択		4	
		適語(句)補充			
		語順整序			6
	記号	部分英作			
		完全英作			
小計		0	4	6	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	4	10	2
		内容一致	14	10	10
		段落・文整序	2		
		段落・文・節挿入	4	4	10
		適語(句)・文選択	6	8	6
	記述	語順整序			
		内容理解(指示語など)			
		語形変化			
		空所補充	2		
		和文英訳			
小計	部分英作				
	英問英答				
	条件英作	10	6	6	
	和問和答				
	合計点	50	50	50	